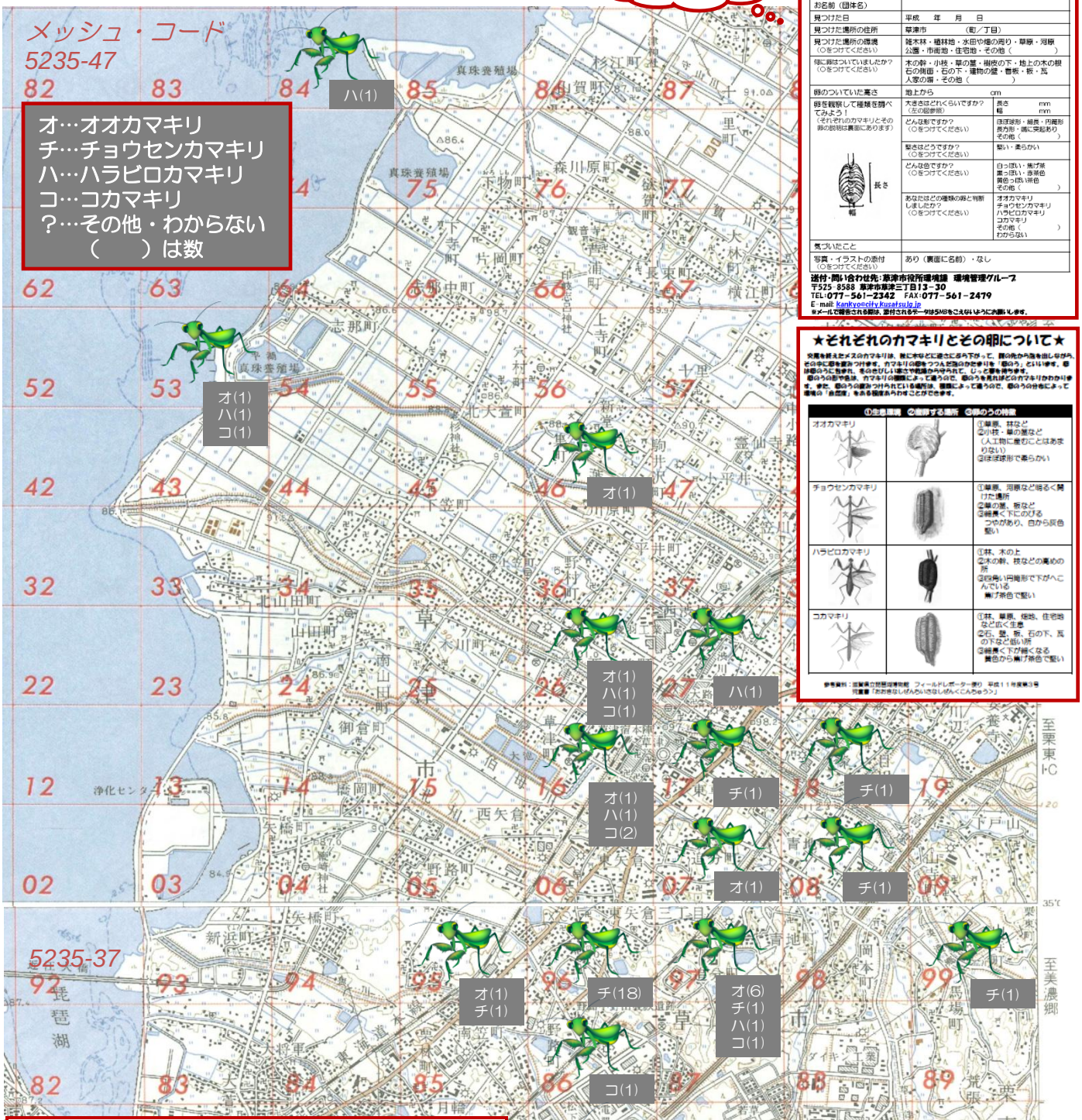
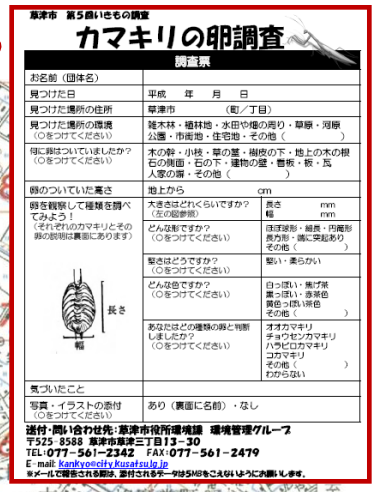
市民いきもの調査員でつくった

協力：滋賀県立琵琶湖博物館

草津市 カマキリの卵(卵のう)マップ

調査期間：平成２４年１０月１５日～１２月１５日





草津市　第５回いきもの調査

カマキリの卵調査

調査票

お名前（団体名）	
見つけた日	平成　年　月　日
見つけた場所の住所	草津市　（町／丁目）
見つけた場所の環境（○をつけてください）	雑木林・植林地・水田や畑の周り・草原・河原 公園・市街地・住宅地・その他（　）
何に卵はついていましたか？（○をつけてください）	木の幹・小枝・草の茎・樹皮の下・地上の木の根 石の側面・石の下・建物の壁・看板・板・瓦 人家の軒・その他（　）
卵のついていた高さ	地上から　cm
卵を観察して種類を調べてみよう！（それぞれのカマキリとその卵の説明は裏面にあります）	大きさはどのくらいですか？（左の図参照）　長さ　mm　幅　mm
	どんな形ですか？（○をつけてください）
	表面はどうですか？（○をつけてください）
	どんな色ですか？（○をつけてください）
	あなたはどの種類の卵と判断しましたか？（○をつけてください）
気づいたこと	
写真・イラストの添付（○をつけてください）	あり（裏面に名前）・なし

長さ　幅

半球形・扁長・円筒形
長方形・端に突起あり
その他（　）

堅い・柔らかい

白っぽい・黒ずみ
黒っぽい・赤茶色
黄ばっぽい褐色
その他（　）

オオカマキリ
チョウセンカマキリ
ハラビロカマキリ
コカマキリ
その他（　）
わからない

送付・問い合わせ先：草津市役所環境課　環境管理グループ
〒525-8588 草津市東草津二丁目13-30
TEL:077-561-2342　FAX:077-561-2479
E-mail: kankyo@city.kusatsu.lg.jp
※メールで報告される際は、送付されるデータは5MBをこえないようにお願いします。

★それぞれのカマキリとその卵について★

交尾を終えたメスのカマキリは、枝に木などに逆さにぶら下がって、腹の先から泡を出しながら、その中に卵を産みつけます。カマキリの卵をつつんだ泡のかたまりを「卵のう」といいます。卵は卵のうに包まれ、その中でじっくりと成長のようすをうかがえて、じっと春を待ちます。
卵のうの形や色は、カマキリの種類によって違うので、卵のうを見ればどのカマキリかわかります。また、卵のうの表面についたれている場所は、種類によって違うので、卵のうの分布によって環境の「自然度」をある程度みうわすことができます。

①生息環境	②産卵する場所	③卵のうの特徴
オオカマキリ		①草原、林など ②小枝・草の茎など（人工物に産むことはあまりない） ③ほぼ球形で柔らかい
チョウセンカマキリ		①草原、河原など明るく開けた場所 ②草の茎、葦など ③細長く下にのびるつやがあり、白から灰色 堅い
ハラビロカマキリ		①林、木の上 ②木の幹、枝などの高めの所 ③楕円形で下がへこんでいる 黄ばみ茶色で堅い
コカマキリ		①林、草原、住宅地など広く生息 ②石、壁、板、石の下、瓦の下など低い所 ③細長く下が細くなる 黄色から黄ばみ茶色で堅い

参考資料：滋賀県立琵琶湖博物館　フィールドレポーター便り　平成１１年度第３号
児童書「おおきなしがんらいさんばんくこんちゅう」

＜このマップからわかること＞
★湖岸寄りではカマキリの卵はほとんど見つかりませんでした。
★チョウセンカマキリの卵が一番多く見つかりました。